

平成28年7月18日

守谷市議会議長 殿

委員長： 高梨 恭子 印

報告者： 砂川 誠 印

総務教育常任委員会 視察・研修報告

標記の件について、次のとおり 実施 ・ 参加 したので報告します。

視察・研修日	平成28年7月14日（木）
視察・研修場所	神奈川県秦野市
視察・研修項目	秦野市デマンド型乗合タクシー、乗合自動車について
参加者	守谷市側 高梨恭子委員長、松丸修久委員、堤茂信委員、砂川誠委員、 須賀三雄総務部長、山崎隆裕議会事務局、
	相手側 秦野市都市部公共交通推進課 保坂課長，北村課長代理 議会事務局 柏木次長，相原書記
視察・研修目的	秦野市地域公共交通における、乗合タクシーを基本とする事業の取り組み方を学ぶ。
視察・研修内容	(1) 秦野市におけるバス交通の現況、財政負担等について (2) デマンド型タクシー、乗合自動車の費用対効果について (3) バスロケーションシステムの導入について (4) 今後の課題、改善等
視察・研修総括 (今後の取り組み等)	近年、地域公共交通を取り巻く環境は少子高齢化、利用者の減少など社会情勢の変化により公共交通サービスを確保、維持が課題だ。住民ニーズに対応するためには実情に合った持続可能な運行実現が必要でありそれには地域住民が主体的にかかわる必要がある。地域住民と行政が一緒になって問題意識を共有し「地域の足は自ら守り乗り支えていく」との強い意志と自家用車から公共交通への利用促進や各種割引サービス、情報発信、PR も地域住民との話し合いの場を数多く設けることが重要になってくる。